

令和3年6月8日  
荒尾市公共施設マネジメント推進室

## 令和3年度指定管理者募集方針検討に関するサウンディング型市場調査の結果概要

令和3年度の指定管理者募集方針検討に関して、民間事業者の方々から広くご意見等を伺うサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果概要を公表します。

### 1. 実施内容

令和3年4月2日 実施要領等の公表  
令和3年4月20日～4月23日 個別対話の実施

### 2. 対象施設

働く女性の家、中央公民館

### 3. 参加事業者数

5グループ

### 4. 個別対話の結果概要

個別対話において、各事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。なお、各事業者のノウハウが含まれると思われる部分等については、非公開としています。

#### ○対象施設の管理運営における市場性（公募への参加意欲）

複数の事業者から参加を検討したいとの回答がありました。

#### ○民間事業者から見た対象施設の課題やポテンシャル

- ・両施設は古い施設であるが、少し手を入れるだけで見た目や利便性が向上するのではないか。
- ・（働く女性の家について）収支決算を見ると、事実上指定管理料に頼った運営になっている。人件費を確保するためにも、指定管理料は適正に積算をお願いしたい。
- ・（中央公民館について）トイレ等のバリアフリー化を検討していただきたい。

#### ○中央公民館と働く女性の家の一体的募集について

両施設の一体的募集については、以下のとおり、効果的であるとの意見がありました。

- ・職員配置や施設管理について効率化を図ることが可能となる。
- ・施設間の相互利用が可能となり、利用者の利便性が向上する。
- ・一体的募集の方が、事業規模が大きくなるので、民間事業者として参加しやすい。
- ・両施設の所管課が異なるので、請求書や報告書等の提出書類をまとめていただけるとありがたい。

○公募条件（応募資格、仕様書、指定管理期間、指定管理料、リスク分担等）に関すること

- ・指定管理料については、最低賃金の改訂や物価上昇率等を踏まえた人件費、委託費等により算出をしていただきたい。
- ・（選定基準について）指定管理料を抑えた提案が評価されるとなると、申請者によっては人件費や委託料を過度に低く算出する可能性があり、安定的な地元雇用の継続と地元事業者との適正な経済活動が損なわれることにつながりかねない。
- ・リスク分担については、コロナ感染症拡大防止に関する措置として、市が休館等を指示した場合の補償について考え方を示してほしい。

※指定管理期間については、多くの事業者が、5年間が妥当であるという意見でした。

○公募時に市から提供してほしい書類・データ等

- ・過去の修繕履歴及び今後計画している修繕の内容
- ・収支決算（特に水光熱費や委託費）、利用実績（部屋ごとの稼働率）、使用料の減免実績等
- ・指定管理料のうち、施設で実施する事業費の目安
- ・利用者のニーズ（アンケート結果等）

○施設のサービス向上や効率的な維持管理に関する提案等

（民間事業者のノウハウに係る部分のため非公開とします。）

## 5. 今後の予定

今回、新たな試みとしてサウンディング型市場調査を実施しましたが、多くの事業者から参加があり、対象施設に一定の市場性があることが確認できました。また、指定管理者の募集全般に関しても様々なご意見をお伺いすることができました。

今後は、本調査の結果等を参考に公募実施に向けて検討を進めていきます。

（※現時点では、7月頃の公募開始に向けて検討を進めています。）

## 6. お問い合わせ先

担 当：荒尾市役所 総務部 公共施設マネジメント推進室

住 所：〒864-8686 熊本県荒尾市宮内出目 390 番地

電話番号：0968-57-7160 FAX：0968-57-7139

Eメール：koukyou@city.arao.lg.jp